

大阪・関西万博における広島県ブースの出展について

1 要旨・目的

大阪・関西万博において、国内外からの来場者に向けて広島県の魅力を体験・体感してもらう場を提供することにより、本県への観光誘客を図るため、広島県ブースを出展する。

2 概要

(1) 出展概要

日 程	令和7年8月5日（火）～8月9日（土）
会 場	大阪・関西万博 ギャラリーEAST（東ゲートゾーン）（約 300 m ² ）
ブース名	RE:WORLD HIROSHIMA 被爆 80 年—いのち輝き、おいしい！があふれる広島のピース&エナジー— ～こころ、からだ踊る体験から見つける未来へのちから～

(2) 出展内容

- 国内外から訪れる来場者に向け、人類史上初の原子爆弾投下から復興を遂げた広島の溢れるエネルギーと魅力をアピールする。
- ブース全体に、食、自然、産業など、多岐にわたる広島の魅力をテーマに特別に制作した、カラフルなキャラクターたちが登場し、来場者を迎え入れる。
- （一社）広島県観光連盟と連携し、ブース来場後においても、継続的に観光情報を提供できるよう SNS のフォロー等を促す。
- ブース内はメインコンテンツを中心に、エナジーゾーン（おいしい！広島の発信）とピースゾーン（平和に関する発信）の2つのゾーンを設ける。

メインコンテンツ	被爆から復興、そして今の広島の魅力の一連のストーリーを、大画面のプロジェクション映像と音楽で体験できるコンテンツを提供
エナジーゾーン	広島の「おいしい」を視覚、聴覚、嗅覚で体感できるコンテンツを提供 ・広島ならではの豊かな「食文化」の紹介展示 ・万博限定の「お好み焼味マイふりかけ」作り体験 ・インスタグラマーとコラボした、没入空間の中で広島の飲食店を紹介する特設ブース ・万博オリジナルキャラクターのコースター作り体験 ・県内市町の情報発信
ピースゾーン	核兵器廃絶の重要性や平和の尊さを、見て・聞いて・体感できる機会を提供 ・被爆の実相、復興の歩み、広島県／へいわ創造機構ひろしま（H0Pe）の取組の紹介展示 ・原爆投下前後の広島の様子を疑似体験できるVRゴーグルの設置 ・被爆・終戦 80 年 #未来へのおりづるキャンペーン 2025 と連携した「おりづるワークショップ」の実施 ・広島県で開催される国際平和のためのユース対話イベントの配信（8/6）

(3) オープニングセレモニー

広島県ブース出展期間の初日にあたる8月5日にオープニングセレモニーを実施する。

【日 時】令和7年8月5日（火）10：20～（予定）

【出席予定者】万博出展関係事業者、広島県副知事、ひろくま（HIT ひろしま観光大使）

【内 容】広島県ブース紹介など

3 予算

41,982 千円

4 事業目標

広島県ブースの来場者数：12,000 人以上

5 その他

広島県ブースの特設サイト及び公式Instagramを6月27日に開設した。

【特設サイト】<https://expo2025.pref.hiroshima.lg.jp/>

【公式Instagram】https://www.instagram.com/hiroshima_expo2025/

【参考】イメージ画像

【全体イメージ】



【メインコンテンツ】



【ピースゾーン（一部）】



【エナジーゾーン（一部）】

